

# 株式会社レベルファイブ 参考資料

2023.12.11

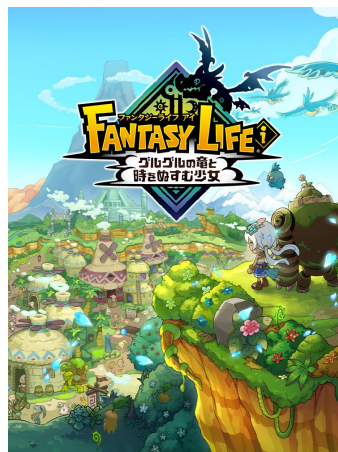
株式会社レベルファイブ  
代表取締役社長／CEO

# 日野 晃博

1998年 プログラマー、ディレクターの経験を経て、福岡でレベルファイブを設立。現在はプロデューサー、ディレクターとして、ゲーム・アニメ・映画等各界のクリエイターの発想を生かし、様々なIPを創出している。

## 株式会社レベルファイブとは

ゲーム作品の企画・制作・販売を行うゲームメーカー  
アニメや漫画など様々なメディアに展開できる「原作」を制作  
レイトン教授、イナズマイレブン、妖怪ウォッチ等、多くのオリジナルIPを所持

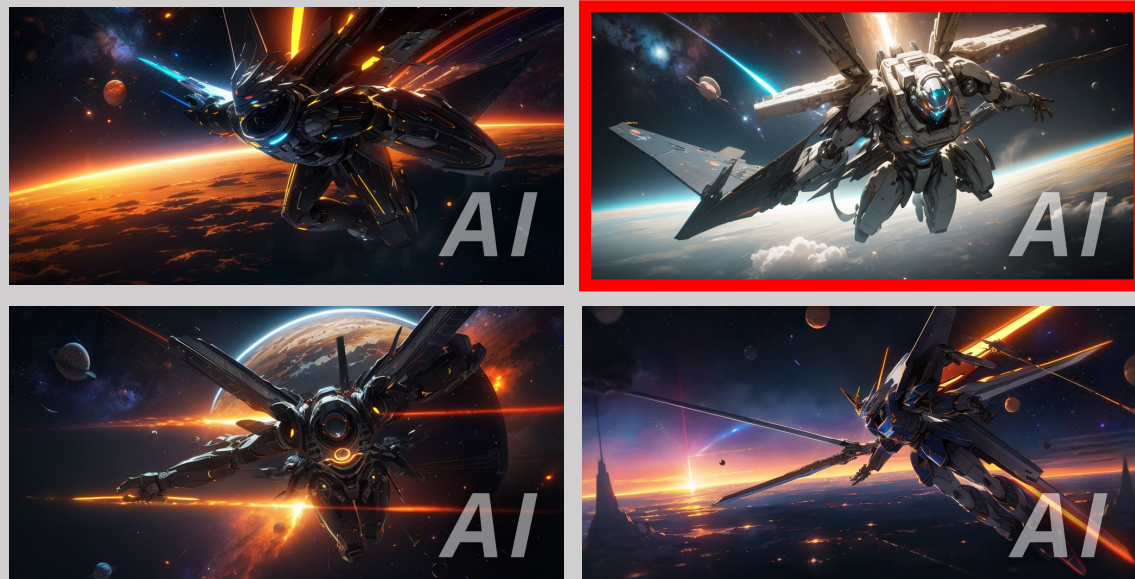


## ゲーム開発及びプロモーション業務の効率化に向けたA I 活用



## 【アート】 ゲームタイトル画面のレイアウト案出し

①



②



③



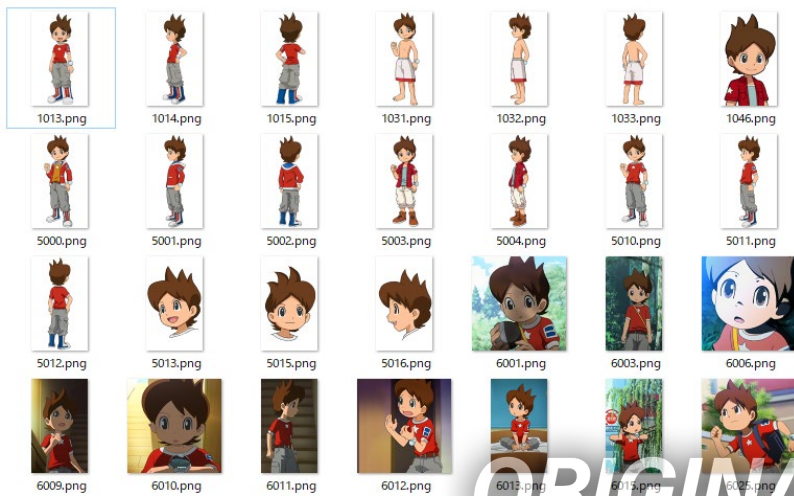
- ① AI(Stable Diffusion)でレイアウト案を生成
- ② レイアウトを参考に世界観に合ったイラストを作成
- ③ イラストをもとに映像を作成  
→ゲームタイトル画面完成



## 【3D】3Dテイストの案出し

①

<AI生成用素材>



ORIGINAL

① 対象キャラの学習素材を準備

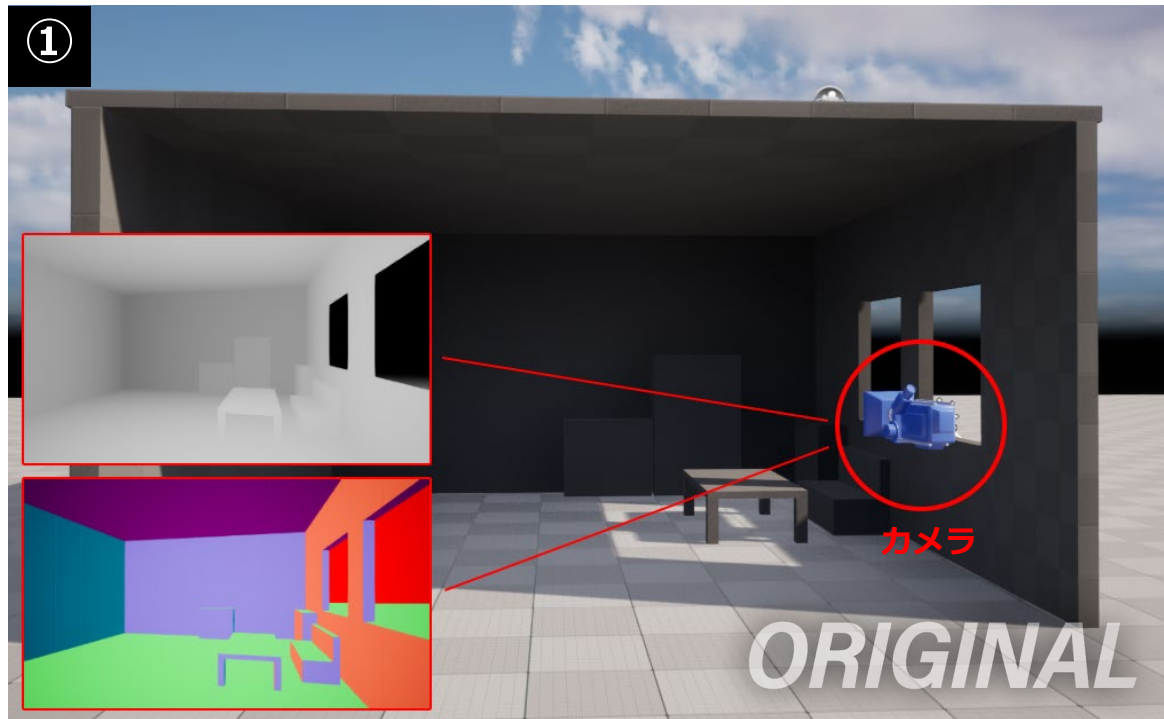
② AI(Stable Diffusion)で  
様々なパターンの材質やプロンプトを指定し、雰囲気や質感などのイメージ案画像を生成



②



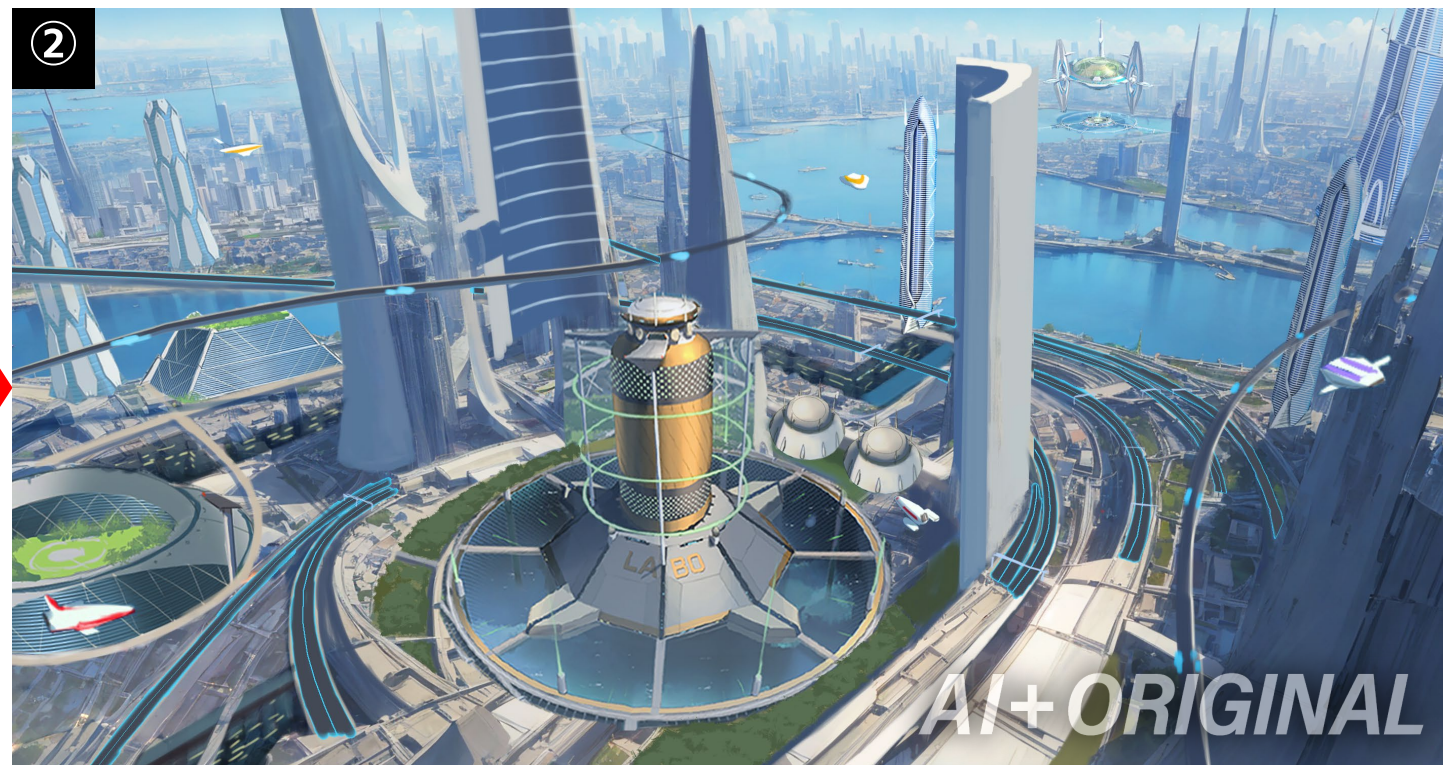
## 【3D】マップ（空間）のレイアウトの案出し



- ① 仮の3Dマップから部屋の画像を書き出す
- ② 画像をベースにさまざまな室内レイアウト案をAI (Stable Diffusion) で生成
- ③ ②を3Dマップに投影し3Dレイアウトの参考資料とする



## 【アート】 背景美術の案出し



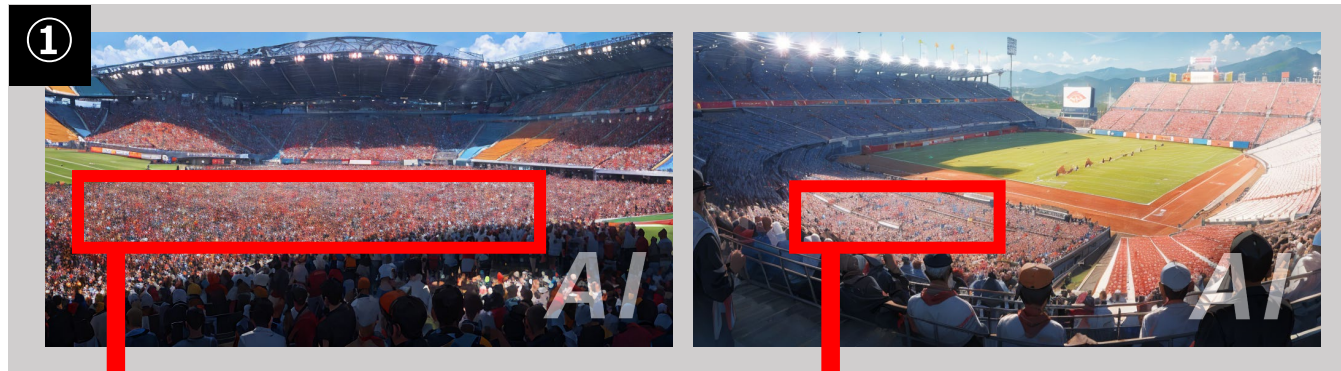
① AI (Stable Diffusion) で  
背景美術の案出し

② 詳細部分を調整しながらブラッシュアップ  
世界観の参考資料とする



## 【アート】背景美術素材の自動生成

- ① 大観衆や建物群の背景素材をAI (Stable Diffusion) で生成
- ② キャラクターイラストと合成しイメージイラストを作成





# 【プランニング】キャラクター／クエスト設定の案出し

登場人物		パラメータ1	
	<b>ジョン・ハリス博士</b>	総合HP1	100
	有名な科学者であり、画期的な発明を成し遂げた。	MP1	50
	45	パワー1	10
	科学者	ディフェンス1	5
	被害者	スピード1	5
	<b>アダム・スミス</b>	パラメータ2	
	ハリス博士の元同僚であり、彼との競争関係があった。	総合HP2	120
	40	MP2	60
	科学者	パワー2	15
	犯人	ディフェンス2	8
	<b>エミリー・ジョンソン</b>	パラメータ3	
	ハリス博士の助手であり、彼の研究に協力していた。	総合HP3	140
	30	MP3	70
	研究助手	パワー3	20
	関係者	ディフェンス3	10
	<b>マイケル・ミラー</b>	パラメータ4	
	ネオシティの警察官であり、事件の捜査を担当した。	総合HP4	160
	35	MP4	80
	警察官	パワー4	25
	捜査担当	ディフェンス4	12
		スピード4	12

ChatGPTに送る情報

関数の名前	get_explain_aboutcrime	
関数の説明	事件について情報をまとめて、不明の場合は仮定で考えて。	
必要な引数1	事件名	事件名を決める
必要な引数2	事件の概要	例：マイクは鈍器で殺されたが、犯人は逃走していた。

「事件を考えて」

ChatGPTから返ってくる情報

実行する関数	get_explain_aboutcrime
必要な引数1	未来都市の秘密
必要な引数2	ネオシティで有名な科学者が殺害され、彼の研究成果が盗まれた。

情報が項目ごとに整理されて返ってくる

ChatGPTに要求した他の情報の返答例

登場人物の名前1	ジョン・ハリス博士
登場人物の説明1	有名な科学者であり、画期的な発明を成し遂げた。
年齢1	45
職業1	科学者
事件中の役割1	被害者
登場人物の名前2	アダム・スミス
登場人物の説明2	ハリス博士の元同僚であり、彼との競争関係があった。
年齢2	40
職業2	科学者
事件中の役割2	犯人
正解の証拠品名1	盗まれた発明品のプロトタイプ
正解の証拠品説明1	ハリス博士の研究室から盗まれた新しいエネルギー源のプロトタイプ。犯人が盗取するために使用した特殊なガスが内蔵されている。
正解の証拠品名2	犯人のアリバイ無し
正解の証拠品説明2	犯人のアリバイが無れ、彼の犯行の証拠が見つかった。
サブ-証拠品名1	研究室の鍵
サブ-証拠品説明1	研究室に入るための鍵。犯人は鍵を使って研究室に侵入したと思われるが、実際には彼のアリバイが無いため、使用されなかった。

必要な情報を項目別に一気に引き出せる

大量のキャラクター設定案やクエストの案出しを、AI(ChatGPT)で自動生成ゲームに使用する各データの参考資料とする

## 【サウンド】音声合成による仮ボイス生成

### ①生成したい仮ボイスをリスト化

c0010000_0001.wav	はっ！
c0010000_0002.wav	はあっ！
c0010000_0003.wav	くらえ！
c0010000_0004.wav	おい！
c0010000_0005.wav	聞け！
c0010000_0006.wav	いいか！
c0010000_0007.wav	よし
c0010000_0008.wav	そらっ
c0010000_0009.wav	処置を行う
c0010000_0010.wav	やるぞ
c0010000_0011.wav	どうだ
c0010000_0012.wav	これで…！
c0010000_0013.wav	決める！
c0010000_0014.wav	くらうがいい！
c0010000_0015.wav	覚悟するんだな
c0010000_0016.wav	う…

### ②テキストから仮ボイスを即時生成

#### AI音声合成 ツール (VOICEVOX)

自社で調整したツールと  
AIを組み合わせることで  
大量の仮ボイスも  
即時生成可能

- c0010000\_0001.wav
- c0010000\_0002.wav
- c0010000\_0003.wav
- c0010000\_0004.wav
- c0010000\_0005.wav
- c0010000\_0006.wav
- c0010000\_0007.wav
- c0010000\_0008.wav
- c0010000\_0009.wav
- c0010000\_0010.wav
- c0010000\_0011.wav

### ③素早く仮ボイスが生成できるため 本収録までの作業も効率的に

((( 決める！ )))



AI音声合成ツール(VOICEVOX)でセリフの入カリストを読み込み、  
その音声データを即時生成  
大量の仮ボイス作成作業の効率化を図る



## 【プロモーション】 WEBサイト制作におけるコーディング補助

```
1 $(".next").click(function () {
2   var $currentPage = $(".current");
3   var $nextPage = $currentPage.next(".page");
4   var $currentNextBtn = $(this);
5
6   //次へボタンをクリックしたセクション内でエラー項目があるかどうかを定期的に判定し、
7   //エラー項目がある場合は次へボタンを無効にする
8
9   let $errorElement = $currentNextBtn.parent().parent().find(".error");
10  setInterval(function () {
11    if (!$errorElement.hasClass("errorFlag")) {
12      //エラー項目がない場合の処理
13      $currentNextBtn.attr("type", "button").text("次へ").removeClass("noneClick");
14    } else {
15      //エラー項目がある場合の処理
16      $currentNextBtn.attr("type", "submit").text("未入力の項目があります").addClass("noneClick");
17    }
18  }, 200);
19
20  //エラー項目がない場合、次へボタンをクリックしたセクションを非表示にし、
21  //次のセクションを表示する
22
23  setTimeout(function () {
24    if (!$errorElement.hasClass("errorFlag")) {
25      $currentPage.removeClass("current");
26      $nextPage.addClass("current");
27      $nextPage.find(".error").removeClass("errorFlag");
28    }
29  }, 200);
30 });
```

コメントでコードを自動生成し、  
コーディングの短縮に活用。

```
js common.js > search_filter
43   });
44
45   function search_filter(group) {
46     $(searchItemR).addClass(showClass);
47     $(searchItem).removeClass(hideClass);
48     if (group === "") {
49       $(searchItem).addClass(showClass);
50       $(searchItemR).addClass(hideClass);
51     }
52     return;
53   }
54   for (var i = 0; i < $(searchItem).length; i++) {
55     var itemData = $(searchItem).eq(i).data("group");
56     if (itemData !== group) {
57       $(searchItem).eq(i).addClass(hideClass).removeClass(showClass);
58     }
59   }
60 }
```

search\_filter関数は、引数groupを受け取り、検索アイテムに対して表示と非表示を切り替える処理を行う関数です。  
まず、searchItemRにshowClassクラスを追加し、searchItemからhideClassクラスを削除します。  
次に、groupが空文字の場合、searchItemにshowClassクラスを追加し、searchItemRにhideClassクラスを追加します。  
最後に、searchItemの数だけループを回し、itemDataがgroupと異なる場合、hideClassクラスを追加し、showClassクラスを削除します。

既存コードの処理を読み解いたり、  
GitHub Copilotで生成した  
コードの問題点の洗い出し/  
最適化などに活用。

WEBサイト制作のコーディング補助AIツールとして  
Genie AI (ChatGPT) / GitHub Copilot を使用  
コードの自動生成や、AIによる説明を活用し効率化を図る

## 【プロモーション】 イメージビジュアルのレイアウト案出し



① AI (Stable Diffusion)で  
レイアウト案を生成



② レイアウト案を参考にラフデザイン作成  
ブラッシュアップ→完成



## 【プロモーション】 イラスト画像の高解像度化



イベントのブース壁面に使用するイラストを  
壁面サイズに耐えるようにAI(SwinIR)で高解像度化

## 【プロモーション】 イラスト画像の高解像度化

(高解像度化前のイラスト)



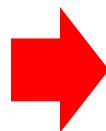
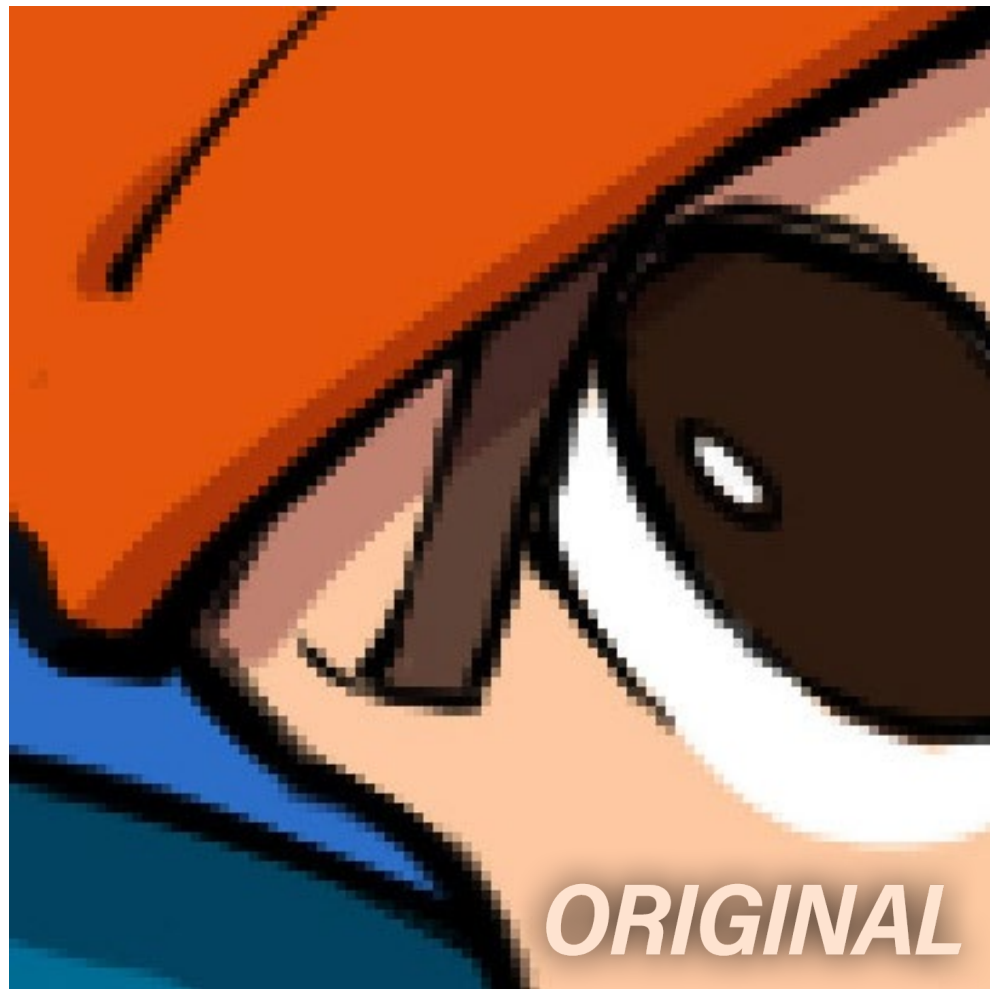
(高解像度化後のイラスト)





## 【プロモーション】 イラスト画像の高解像度化

(高解像度化前のイラスト)



(高解像度化後のイラスト)



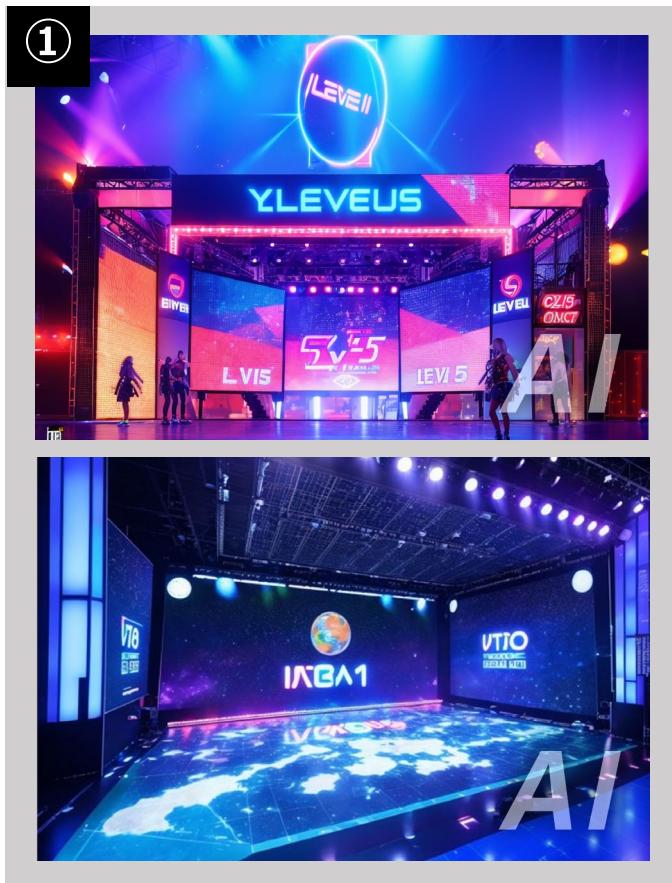
## 【プロモーション】 イラスト画像の高解像度化

(実際のブース)





## 【プロモーション】 イベントステージの演出イメージ案出し



- ① 4面LEDを使用するイベントステージの演出イメージ案をAI (Stable Diffusion) で生成
- ② 実際のイベントステージ

## AIの有効活用について

- **基礎データの作成**
- **案出し(アイデア)**
- **クオリティアップ**